


屈指のワイン・メーカー・トーマス・リヴァース・ブラウンとアイコン的な葡萄畑を管理するマット・ハーディンがタッグを組んだ！

マット・ハーディンは1849年から続くポーブ・ヴァレーのハーディン・ランチの6世代目。カリフォルニア大学を卒業後、伝説的なヴィンヤード・マネージャー/ラリー・ベッティネリのもとスリーピングレディ・ヴィンヤードの開発に携わる。その後自分の会社を立ち上げ現在ナバ・ヴァレーで280ha以上の葡萄畑を管理する。キャッターウォウルはポーブ・ヴァレーのハーディン・ランチとウォレス・ランチ、スタッグス・リープ・ディストリクトのレグシス・ランチからの葡萄を主体に、マットやトーマスが関わっているナバの畑から調達。キャッターウォウルとは猫がギャーギャー鳴く声、転じて人がいろいろな意見を交し合うことから命名。印象的なラベルは18世紀の自然史図鑑のアメリカン・クーガの挿絵から。



商品写真	商品名	AVA	タイプ	年	容量(ml)	希望小売価格	摘要
	Cabernet Sauvignon Napa Valley カベルネ・ソーヴィニオン ナバ・ヴァレー	Napa Valley	赤	2021	750	¥9,000	好評につき、在庫僅少 同VTG 2月入荷予定
<p>Cabernet Sauvignon 100% 全て自社で管理するポーブ・ヴァレーのハーディン・ランチとウォレス・ランチ、スタッグス・リープのレグシス・ランチを主体にナバ・ヴァレー各地をヴィンテージ毎にセレクト。仏産樽（新樽50%）で熟成。煮詰めたプラム、西洋カリン、ウーロン茶、杉などの香り。しなやかな口当たり、きめ細やかで良く溶け込んだタンニンとバランスの取れた酸味があり、濃密なダークフルーツ、なめし革、カカオニブ、ラズベリーなどが長いフィニッシュに導く。</p>							

キャッターウォウル CATERWAUL



カリフォルニア屈指のワイン・メーカー
トーマス・リヴァース・ブラウン / Thomas Rivers Brown
とナパでのアイコン的な葡萄畑を管理するグローワーである
マット・ハーディン / Matt Hardin がタッグを組んだ！

2人は15年以上にわたり、マイバツハ、アウトポスト、ブリド〜ウォーカーなどのプロジェクトと一緒に働き親交を深めた。そして、お互いの強みを生かしたワインを造ろうと誕生したのがこのキャッター・ウォウル。2015年からリリースする。

トーマスは上記のプロジェクトに加え、シュレーダー・セラーズ、ボアズ・ビューまた自身のブランドであるリヴァース・マリー、アストン等々を手がける。

50回以上の100点満点をたたき出しミダス・タッチ / Midas Touch (ギリシャ

神話の手に触れるものすべてを黄金に変えるミダス王に由来する)と評される。

マットは1849年から続くポーブ・ヴァレーのハーディン・ランチの6世代目。カリフォルニア・ポリテクニク大学(カリポリ)を卒業後、伝説的なグローワー、ラリー・ベッティネリ氏のもとスリーピングレディ・ヴィンヤードの開発に携わる。その後もヴィンヤード・マネージメントの経験を積んだ後、自分の会社であるハーディン・ヴィンヤード・マネージメントを立ち上げる。2021年の合併を経て現在はハーディン・クラーク・ヴィンヤード・マネージメントとしてナバ・ヴァレーで280ヘクタール以上の葡萄畑を管理する。

キャッター・ウォウルはポーブ・ヴァレーのハーディン・ランチとウォレス・ランチ(ハーディン家とは親戚関係)、スタッグス・リープのレグシス・ランチ / Regusci Ranch (マットの妻アリシアの実家。アリシアはレグシス家がスタッグス・リープに住み始めてからの5世代目)からの葡萄を主に使い、他にもマットやトーマスが個人的にかかわっている畑から調達する。その全ての栽培はマットが管理している。収穫期になると、マットとトーマスは全ての畑を歩き回り、葡萄の味を基準にしてそのヴィンテージに使用する区画を畝ごとに決定していき、毎年そのヴィンテージで最高品質のワインを生み出す。

因みにCaterwaulとは猫がギャーギャー鳴く声、転じて人がギャーギャー言う、激しくいがみ合う声という意味。印象的なラベルは18世紀の自然史図鑑の'american cougar'(ピューマ)の挿絵を元にデザインされている。

Caterwaul Cabernet Sauvignon Napa Valley 希望小売価格
キャッターウォウル カベルネ・ソーヴィニオン ナバ・ヴァレー 2021 **9,000円(税別)**

このカベルネ・ソーヴィニオン ナバ・ヴァレーは優れた畑からヴィンテージの特徴を明快に表現するワインを造る事を目指している。「1本150ドル以上するワインに使用する葡萄を手に入れることが出来た」とのこと。

AVA: ナバ・ヴァレー 品種: カベルネ・ソーヴィニオン 100% 熟成: 仏産樽 100% (新樽比率 50%)

テイasting・ノート

外観はくぐもった濃い紫色。煮詰めたプラム、西洋カリン、ウーロン茶、そして杉などの香りが豊かに折り重なる。口に含むと芯にある濃密なダークフルーツを活き活きとした赤い果実が彩り、ブラック・ベリーのパーストやなめし革、カカオニブなどが現れる。ラズベリー、ダーク・チェリー、ブルー・ベリーなどの鮮やかな香りが長いフィニッシュに導き、しなやかな口当たりを、きめ細やかで良く溶け込んだタンニンとバランスの取れた酸味がくっきりと縁取る。すぐに飲んでも、しばらくセラーで寝かせても楽しめるワイン。

ヴィンテージ・ノート

2021年は生育シーズンの初めから晩春までほとんど雨が降らず乾燥した年だった。そのため房も果実も小ぶりで収量が抑えられたため凝縮し濃厚な果実となった。一方で葡萄の葉を房の上に残し、過度の熱や直射日光が当たらないよう注意深く管理した。収穫シーズンも雨がふることなく、果実のフェノールが完全に成熟するまで収穫を待つことが出来た。その結果、色彩、深み、力強さ、複雑さを備えた美しい完成したワインが生まれた。

